

ふるさと坂城



かわなかしま かつせん ずびょう ぶ きしゅう
川中島の合戦図屏風（紀州本）
の やり の おしげ か
（中央の黒い馬に乗り槍をかまえて武田信繁（信玄の弟）を攻める村上義清が描かれている）

坂城町教育委員会

さかきまち
空から見た坂城町（南から）





かつら おじょうせき 葛尾城跡から見た坂城町 (ちくま がわ 千曲川の東側)





葛尾城跡から見た坂城町（千曲川の周辺）^{しゅうへん}





葛尾城跡から見た坂城町（千曲川の西側）





坂城町全図

■方角



■地図記号

	田
∨∨	畑・牧草地
○○	果樹園
∟∟	桑畑
○○	その他の樹木畑
○○	広葉樹林
△△	針葉樹林
↑↑	竹林
↑↑	しの地
山山	荒地
▨	市街地
■	建物





鏡台山 1269m

黒柏木 1199m

五里ヶ峰 1094m

鳩ヶ峰 1319m

大道山(堂観山) 1291m

大峰山 1327m

太郎山 1164m

虚空蔵山 1077m

旧真田町

上田市

北日名

南日名

大宮

日名沢

旭ヶ丘

日名沢川

坂城小

新町

込山

板端

鉄の展示館

立町

B1プラザさかき

道科用水

横町

坂城町役場

田町

坂城大橋

御所沢

入田川

坂城高

月見

大望橋

パラ公園

網掛

六ヶ郷用水

テクノセンター

坂城町勤労者

総合福祉センター

中之条用水

中之条

文化の館

町横尾

泉

金井

南条

南条小

新地

鼠宿

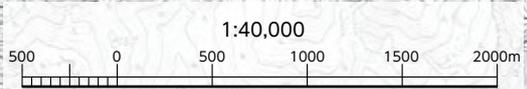
鼠橋運動公園

小網

胡桃沢川

欠田用水

上田市



ちくまがわ やちよう 千曲川の草花と野鳥



ヨシ類の穂の比較。左からツルヨシ・ヨシ・オギ・ススキの順



オオイヌノフグリ



サボンソウ



クズの花



ビロードモウズイカ



アカツメクサ



じっと止まって様子を見ているトビ



チョウゲンボウ (撮影 齊藤 健氏)



ヤマセミ (撮影 齊藤 健氏)



餌の魚をとらえたアオサギ



ジョウビタキ
(撮影 齊藤 健氏)



千曲川で羽を休めるユリカモメの群れ

わ だいら
和平の動植物



イノシシ



アナグマ



シジュウカラ



ノシメトンボ



キツリフネ

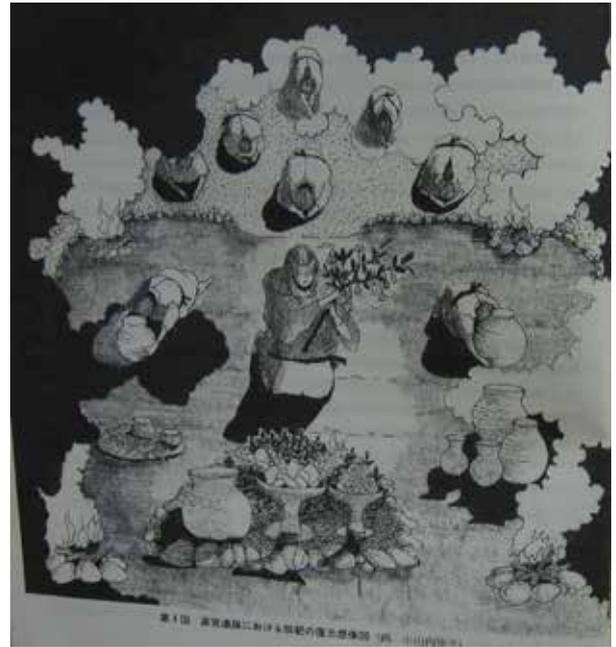


アケビの花

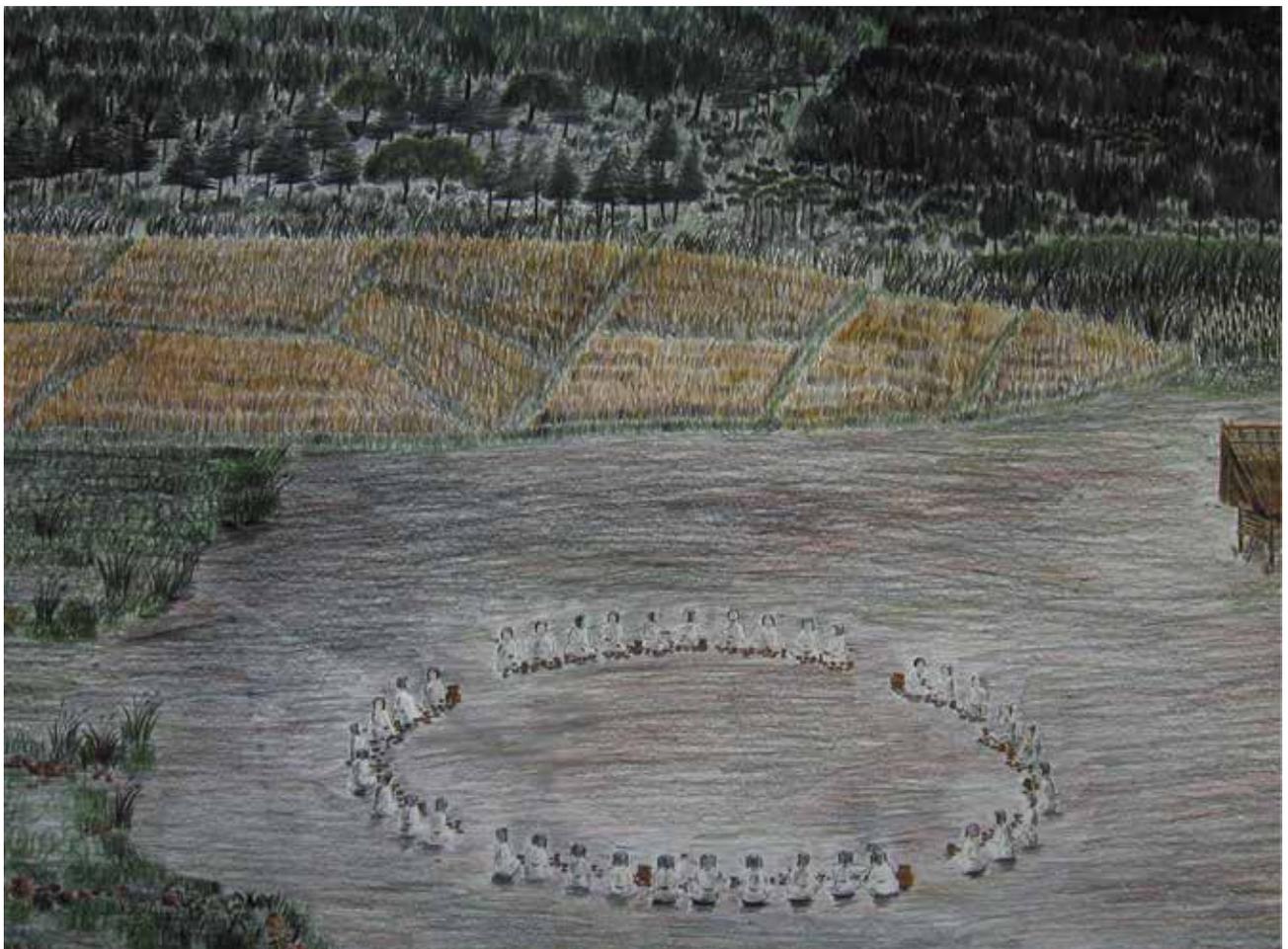
あおきしたいせき 青木下遺跡でのおまつり

青木下遺跡は古墳時代の後期の遺跡です。土器のほかに見つかったものは、三種の神器とされる剣、鏡、玉を石でまねて造った剣形模造品、有孔円板、白玉などがありました。これらのものは右の絵のように木の枝に吊り下げておまつりの儀式に使われたものと考えられています。この頃のおまつりは絵のように、「祈り」を捧げておこなわれ、「祈り」の後、輪のように並べられた食器に盛り付けられた料理を食べたと考えられます。

発掘調査の結果から、約百年にわたっておまつりが続けられていることがわかりましたが、毎年のようにおまつりがおこなわれていたわけではなく、何年かに一度といったサイクルでおまつりがおこなわれていたようです。土器が集中して見つかったこの場所は、周辺のムラの中でもおまつりをする神聖なところだったということがわかりました。



松本市高宮遺跡でのおまつりの復元図
『長野県考古学会誌第79』(小山内玲子画)



青木下遺跡でのおまつりの復元イラスト(長野県立歴史館所蔵 中山 尚子画)

遺跡、文化施設分布図







村上小学校



南条小学校



坂城高等学校



坂城小学校



坂城中学校

ま え が き

みなさんは、ふるさと坂城町さかきまちについてどんなことを知っていますか。

わたしたちが住むふるさと坂城町は、長野盆地ながのぼんちと上田盆地うえだとをつなぐ小さな坂城盆地しゅうへんにあります。周辺は山々に囲まれ、町の真ん中まを信濃の巨竜しなの きょりゅう「千曲川」が南から北に向かって流れている自然しぜんが豊かゆたで美しい町うつくです。

ふるさとの 山におかひて 言ふことなし

ふるさとの山は ありがたきかな

(石川 啄木たくぼく)

この川に ひとつになりて 流れゆく

親しさを見よ 水の心の

(山崎 等ひとし)

こんな思いがしますね。

町のどこからも山並みやまなを見ることがができます。また、四季し きの変化へん かがはっきりしています。降水量こうすいりょうは年間 1000mm 以下い かという本州では最も雨ほんしゅうの少ないところもつとです。

千曲川ちよまがわの両岸りょうがんの平地ひなざくは、稲作いなさくが盛んで、山ろくやまろくの傾斜地けいしゃちにはりんごやぶどうなど果樹かじゅがたくさん作られています。

町は工業こうぎょうが盛んで、大小 200 以上の工場さかがあります。

歴史れきしも古く、2000 年以上前から人々が住んでいました。900 年ほど前の古代こだいに千曲川左岸ちよまがわさぎわの村上郷むらかみごうにおこった村上氏むらかみしは、中世ちゆうせいに右岸みぎがわの坂城郷さかきごうに居きよを移うつしました。

時の村上義清よしきよは、葛尾城かつらおじょうを拠点きょてんに戦国せんごくの動乱どうらんをかけぬけた信濃しんりゅうの国第一こくだいいちの名将めいしょうです。

江戸時代えどじだいは北国街道ほっこくかいどうが通り、文化ぶんかの交流こうりゅうもさかんでした。

明治維新後の変化と発展は目を見張るものがあります。1888（明治21）年信越本線が開通したとき、長野と上田の間には、篠ノ井、屋代、坂城の3つの駅しかありませんでした。坂城の人々の喜びはどんなだったでしょう。

1955（昭和30）年川東の坂城町、中之条村、南条村が一緒になって新しい坂城町となりました。さらに、1960（昭和35）年には川西の村上村も坂城町へ加わって坂城盆地をひとつにした今の坂城町となりました。

坂城町に生を受けた先人の努力と誇りが、今のすばらしい町をつくりあげたのです。

志をはたして
いつの日にか帰らん
山は青きふるさと
水は清きふるさと （作詞 高野 辰之）

みなさんもよく知っている「ふるさと」の3番です。坂城町をふるさととするたくさんの方が、世界に飛躍し、ふるさと坂城町に思いをよせてきました。

この『ふるさと坂城』には、おらがふるさと坂城町を知る手がかりがたくさんあります。総合的な学習のヒントもいっぱいあります。

ふるさととは教室、ふるさととは学校です。

小学校、中学校に学ぶ坂城町のみなさんに『ふるさと坂城』を届けます。

令和3年4月

坂城町教育委員会